

## トピックス

### レジナビFair福岡にオールかごしまで出展しました!!

令和8年5月24日に福岡県のマリンメッセ福岡にて開催された「レジナビFair福岡」に、鹿児島県内すべての基幹型臨床研修病院で出展しました。

今回昨年を上回る鹿児島県ブースへの訪問があり、多くの医学生に鹿児島で臨床研修を行う魅力を伝えることができました。

参加した医学生は、各病院で現在研修中の医師から、研修プログラムの内容や研修医の日常生活など、「ここでしか聞けないお話」を聞くことができる貴重な機会になったと思います。

また、フェア終了後には、先輩研修医やコンシェルジュと交流する「よろず相談セミナー」を開催し、フェアでは聞けなかった医学生の疑問や不安を解消できたと思います。

「よろず相談セミナー」は、医学生の皆さんの要望に応じて随時開催しています。初期臨床研修で初めて鹿児島に移り住んだ先輩研修医と話してみたい、〇〇科の指導医の先生からお話を聞いてみたいなど、興味がある方、オンライン対応はもちろんご希望に応じて皆さんの住む街や大学を訪問する出前セミナー形式でも可能な限り対応しています。1人でも、友だちと一緒にでも、もちろん無料で開催しておりますので、まずは「こんなセミナーって出来ますか?」くらいの気持ちでお気軽にお問い合わせください。

当協議会の公式Webサイトから随時受け付け中です!

皆さまの応募をお待ちしております!



### 令和8年度オンライン合同説明会を開催しました!!

令和8年6月16日~26日にかけて、鹿児島県内のすべての基幹型臨床研修病院が参加し、オンライン合同説明会を開催しました。

県内外から多くの医学生の皆さんに参加していただき、コンシェルジュによる個別相談、各病院の指導医による病院や研修プログラムなどの説明がありました。また、医学生の皆さんの疑問・質問に研修医にたくさん答えてもらいました。



### 鹿児島大学医学部で対面式の合同説明会を開催しました!

令和8年6月3日に鹿児島大学医学部鶴岡会館にて、鹿児島県内すべての基幹型臨床研修病院が一堂に会する臨床研修病院合同説明会を開催しました。

平日の夕方にも関わらず、多くの医学生の皆さんに参加していただき、指導医・研修医・病院関係者から、病院・研修プログラム内容の説明や研修医生活について紹介してもらいました。

今回は残念ながら参加できなかった医学生の皆さんにお知らせです。今年12月に2回目の説明会を開催する予定ですので、開催が決まり次第、当協議会公式Webサイトでご案内します。研修医の生の声、鹿児島での研修の魅力を知る絶好の機会です。是非ご参加ください!



鹿児島県初期臨床研修連絡協議会 (事務局:鹿児島県 保健福祉部 医師・看護人材課)

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 e-mail iryokaikaku-ishikakuho@pref.kagoshima.lg.jp

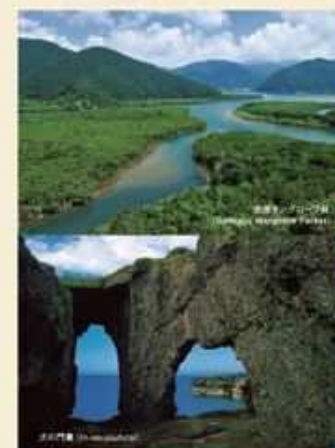
TEL 099-286-2581 FAX 099-286-5928

<https://kagorinsho.jp/>



鹿児島流

## 熱いハートの医師 育てます



## 南の宝 鹿児島

写真協力:鹿児島県PRポスター

## 私の研修医時代

やま した まなぶ  
米盛病院 整形外科 山下 学さん

出身校 鶴丸高等学校・東京医科大学

研修医時代、1か月しかない診療科の研修中に1週間休みをもらい、ブラジルまでワールドカップを観に行きました。今考えれば上級医には相当迷惑をかけたと思います(笑)。ただ、「サッカーが好き」を行動に移した経験は、現在Jリーグのチームドクターとして活動する自分につながっています。

一方、医師として大きな影響を受けたのは救急と脳神経外科でした。誰よりも働く先生方に「覚えてもらいたい、教えてもらいたい」と必死についていきました。10年以上経った今、当時の治療法以上に残っているのは、そこで出会った先生方や患者さんから学んだことです。患者さんへの説明に失敗し、上級医の言葉を横で聞いて学んだことも、今の診療に生きています。

まず検査を見て、勉強し、自分で考える。でも、そこで満足せず患者さんのところへ行く。研修医時代はいろいろな診療科、人に出会える時間です。ブラジルも含め(笑)、どの出会いや経験が10年後の自分につながるかは、その時には分からないものです。



出身地 鹿児島市

## 指導医の思い出



もり た よしのり  
森田 喜紀さん

出身校 鶴丸高等学校▶自治医科大学

勤務先▶鹿児島県立大島病院

平成14年卒の私は、現在の研修医制度が始まる前でストレート研修が主流の中、1年目を鹿児島大学病院（第三内科、産婦人科、耳鼻咽喉科）、2年目を鹿児島市立病院（脳神経外科、麻酔科、循環器内科、小児科）でローテート研修を行いました。

各科の先生方からは疾患の知識や検査・治療手技、診療における思考過程などを教わりました。知識や技術以上に、チーム医療に求められる医師像や、患者さんやご家族に向き合う真摯な姿勢を学べたことが、現在の私の貴重な財産となっています。当時の先生方とは今でも交流があり、研修医教育のお仕事を一緒にさせていただく機会にも恵まれました。

現在は私も指導医として研修医を育成する立場にあります。かつて自分が恩師から大きな影響を受けたように、少しでも研修医の先生方の良き模範となれるよう、日々誠実に医療に取り組みたいと思います。

出身地 福岡県



かみかわ かつと  
上川路 和人さん

出身校 池田学園池田高等学校▶大分大学

勤務先▶公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院

はじめまして。2005年卒（現行制度の2期生）で、鹿児島大学のプログラムで研修しました。諸事情が重なり、大学病院2年間のコースでした。

脳内4か月、麻酔2か月、心外2か月、呼外2か月、呼内3か月、ICU3か月、小児1か月、精神1か月、産婦1か月、地域医療1か月、循環2か月、小児2か月を順にまわり、当然ですが、大学病院の長所、短所もありました。正直、老練の研修病院で着々と修練を積んでいる同級生の話を聞くと焦ることも多かったですが、

一方でやはり医療は一人ではできないので、今につながる人間関係を築けたことを含め、得るものも大きかった期間でもあったと思っています。もし今あの頃に戻れるなら、統計の知識、一般内科の知識・手技、小外科の手技、画像診断の基礎、英語、あと一般常識・教養などをもっと学びたいです。

後悔は先に立たないので仕方ありません。そういう訳で今も日々勉強が続いています。

出身地 指宿市



のさき かつよし  
野崎 剛さん

出身校 ラ・サール高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶南風病院

私が医師になった1996年頃はローテート制度がなく、専門分野が多かった当時の第二内科に入局しました。いくつものグループカンファレンスがあり、その準備など大変だったですが、いろんな領域の勉強ができたのは良かったです。2年目が沖縄の関連病院で消化器の指導医の元で腹部エコーを指導頂いた後、ドックエコーを1日10-20件、週何回かさせて頂き、内視鏡や注腸検査も教えて頂きました。

また3年目は県立大島病院で、腎臓・一般内科をしながらカメラ目も週1日頂きました。島暮らしが多かったのですが、県本土とは違った風景があり、とても勉強になりました。

現在の研修医制度では3年目での入局ですが、進む科が決まっている先生は、その科はあとでいくだけでも勉強できるので、それ以外の科をよく勉強して医師としての幅が持てるようになって下さい。もちろんまだ決まっていない先生も、いろいろな科で勉強できるのは今のうちなので頑張って下さい。

出身地 日置市



は せ まなみ  
長谷 真咲さん

出身校 鹿児島玉龍高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶鹿児島市医師会病院

初期研修医の頃から、多くの指導医にお世話になってきました。私が尊敬する先生方に共通しているのは、日々の仕事が丁寧で、緊急時にも落ち着いており、周囲の人にいつも穏やかに接していることです。自分も心がけてはいますが、思うようにできない日も多くあります。初期研修医時代に特にお世話になった先生から、「若手のうちは知識や技術が未熟な分、ベッドサイドに足を運び、自分の目で患者の状態を確認することが大切だ」と教わりました。また、患者に敬意を持って接することも大切だと教わり、言葉遣いを褒めていただいたことも印象に残っています。どちらも今の診療で大切にしています。

入局後も、医学的な知識や技術、患者やその家族への接し方など、指導医から学ぶことがたくさんあります。これまでの教養を診療に生かし、いつか私も後輩に還元できるよう、これからも精進していきたいと思っています。

出身地 鹿児島市

## 研修医の声



とよひら れん  
豊平 蓮さん

出身校 鶴丸高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶総合病院鹿児島生協病院

研修医として鹿児島生協病院で勤務し始め、学生の頃とは異なる責任の重さを日々実感しています。診断や治療だけでなく、患者さんやご家族への説明、多職種との連携など、医療は一人で完結するものではないことを改めて学びました。また、自分の知識や技術の未熟さを痛感する場面も多く、そのたびに、指導医や上級医をはじめ、多職種の方々から多くのことを学び、支えられながら診療に携わっています。日々の診療の中で、自分に任せられる役割が少しずつ増えてきたと実感する瞬間は、大きな励みとなっています。忙しい毎日ではありますが、一つ一つの経験を振り返り、失敗から学ぶ姿勢を大切にしながら成長していきたいと思っています。これから目の前の患者さんに誠実に向き合い、知識・技術だけでなく、人として信頼される医師を目指して努力を続けていきたいと考えています。

出身地 鹿児島市



はら わかな  
原 和樺菜さん

出身校 鹿屋中央高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶国立病院機構 鹿児島医療センター

研修医2年目となり、初期研修も折り返しを過ぎました。1年目は目の前の業務に精一杯になることも多くありましたが、さまざまな診療科で経験を重ねる中で、少しずつ自分で考え、根拠を持って診療に向き合える場面が増えてきたように感じています。

2年目は院内での研修に加えて院外で研修する機会もあり、それぞれの環境で異なる視点や考え方に触れながら、日々新たな学びを得ています。また、幅広い診療科を経験することで、自分が興味を持てる分野や、将来どのような医師になりたいかについて考える機会にも恵まれました。

現在は初期研修終了後に進む診療科も決まり、3年目からのスタートを見据えて、より主体的に知識や経験を積んでいきたいと考えています。残りの研修期間も、先生方やスタッフの皆さんから多くのことを吸収し、ひとつひとつの経験を大切にしながら、楽しく充実した研修生活を送りたいと思います。

出身地 曾於市



うえの その たくま  
上之園 卓馬さん

出身校 加治木高等学校▶鹿児島大学

勤務先▶霧島市立医師会医療センター

「自分が望めば何でもできる」。これは、初期研修を通して私が実感していることです。入職当初は、チーム医療の中でどう動けばよいのか、何をどこまで勉強すればよいのか分からず、悩むことも多くありました。しかし次第に、スムーズな診療のために何をすべきかを考えることが大事だと思うようになりました。

手技や勉強では、「やってみよう」「もっと知りたい」という好奇心を大切にしています。「研修医だからここまで」と限界を決めず、興味や目標に合わせて挑戦することが楽しいと気づきました。

初期研修のスタイルは人それぞれですが、自分の道を自分の足で歩くことが大切なのだと思います。霧島医療センターでは、指導医やコメディカルの皆さんに支えていただき、のびのびと研修できています。感謝を忘れず、患者さんやスタッフの皆さんへの恩返しができるよう成長していきたいと思っています。

出身地 始良市



ゆだ さき  
湯田 沙紀さん

出身校 鹿児島純心女子高等学校▶東海大学

勤務先▶今村総合病院

私は臓器や疾患にとらわれず、まず患者さんを診て必要な診療につなげられる総合内科医を目指し、日々研修に励んでいます。この研修の中で特に印象深かったのは外来と院外研修です。外来では受診のきっかけや解釈モデルから原因疾患を想起し、限られた時間で情報を引き出す難しさを実感しました。指導医との並診を通じ、問診技術に加え、患者さんが納得できる治療方針の説明や提案方法を間近で学びました。

院外研修では総合内科の視点でICUの最前線に立つ先生に出会い、自身の目指すキャリアプランを具象化する貴重な機会を得ました。また異なる地域で様々な生活背景を持つ患者さんとの出会い、その後の生活を見聞き、その一部として無理なく組み込める治療を提案する大切さを学びました。

自分の未熟さに悩む日々ですが、温かい出会いに恵まれた当院での研修に心から感謝しています。残りの期間も泥臭く学び、一つでも多くのことを吸収してまいります。

出身地 鹿屋市